

八甲田山 火山防災マップ

2020年



- この「八甲田山火山防災マップ」は、八甲田山の過去の噴火に関する調査をもとに、今後八甲田山が噴火した場合に発生する噴火現象によって、火山災害が及ぶ可能性のある範囲を掲載しています。
- 火山噴火が発生した際に、気象庁から発表される情報や、避難を行う際に必要な情報、噴火活動等に関する情報の入手先などについて掲載しています。

火山防災に関する情報の入手先

八甲田山周辺の気象や火山防災に関する情報は、インターネットや携帯電話、ラジオ等により入手することができます。

八甲田山周辺の気象や火山活動

気象庁
青森地方气象台
http://www.jma-net.go.jp/aomori/index.html

災害時のラジオ局からの情報

FMアップルウェブ 78.8MHz
846kHz
NHK第1(AM)
FM青森 80.0MHz
青森放送(AM・FM)
NHK-FM 86.0MHz
1,215kHz
91.7MHz (ワイドFM)

主要な河川雨量・水位について

国土交通省 川の防災情報
https://www.river.go.jp/

青森県 河川砂防情報提供システム
http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/

青森県の防災情報全般について

青森県 防災ホームページ
http://www.bousai.pref.aomori.jp/

ラジオ放送はインターネットで聴くこともできます。(スマホやPCに対応したアプリが必要です)

八甲田山の特徴と予想される現象

八甲田山の特徴

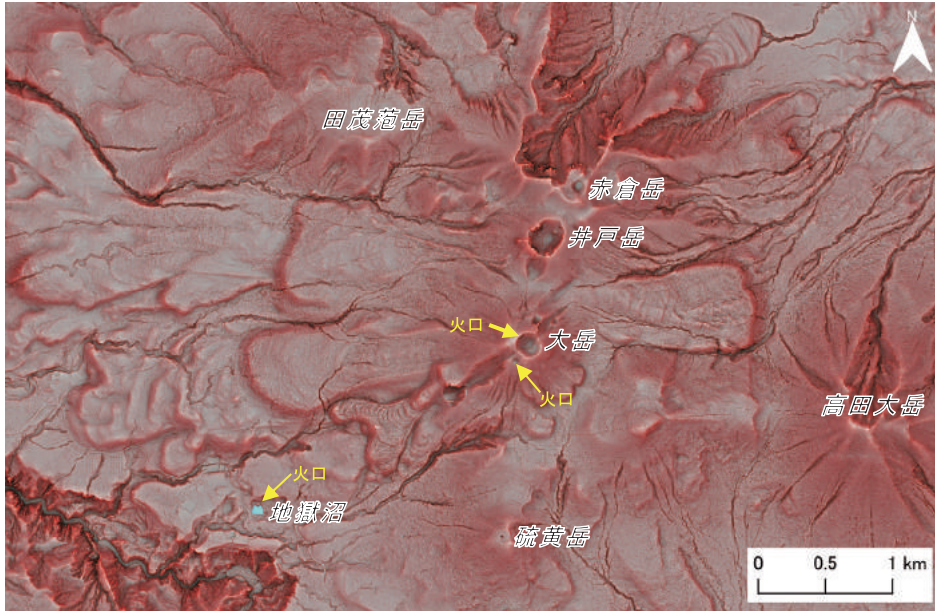
- 八甲田山は少なくとも17以上の成層火山や溶岩ドームからなり、約110～30万年前に活動していた南八甲田火山群と、約40万年前～現在も活動している北八甲田火山群にわけられます。
- 約1万年前以降の噴火は、大岳の山頂付近と、大岳南西麓の地獄沼で発生しています。
- 地獄沼では、13～14世紀に1回、15～17世紀に2回の小規模な水蒸気噴火がありました。
- 有史以降の火山活動としては、地震と火山ガスの発生が報告されています。

予想される現象

- 八甲田山の有史以降の活動から、水蒸気噴火が予想されます。過去の噴火と同様に、噴火に伴う降灰や噴石の飛散、泥流の湧出などが起きやすいと考えられます。
- もし大規模な噴火に移行した場合には、マグマ噴火が発生すると考えられます。降灰、噴石、溶岩流、泥流に加え、火砕流・火砕サージの発生が予想されます。
- また、降灰が山体斜面に積もった場合は、その後の降雨によって土石流が発生することが予想されます。

八甲田山の地形

大岳や井戸岳などの山頂に火口(凹地形)があります。このうち、過去1万年間に噴火したことがあるのは、大岳のみです。大岳山頂周辺には複数の火口が見られます。また、大岳の周辺には溶岩流の地形(舌状の地形)がみられます。大岳山頂の南西にある地獄沼も火口です。いまから数百年前に噴火したと考えられています。



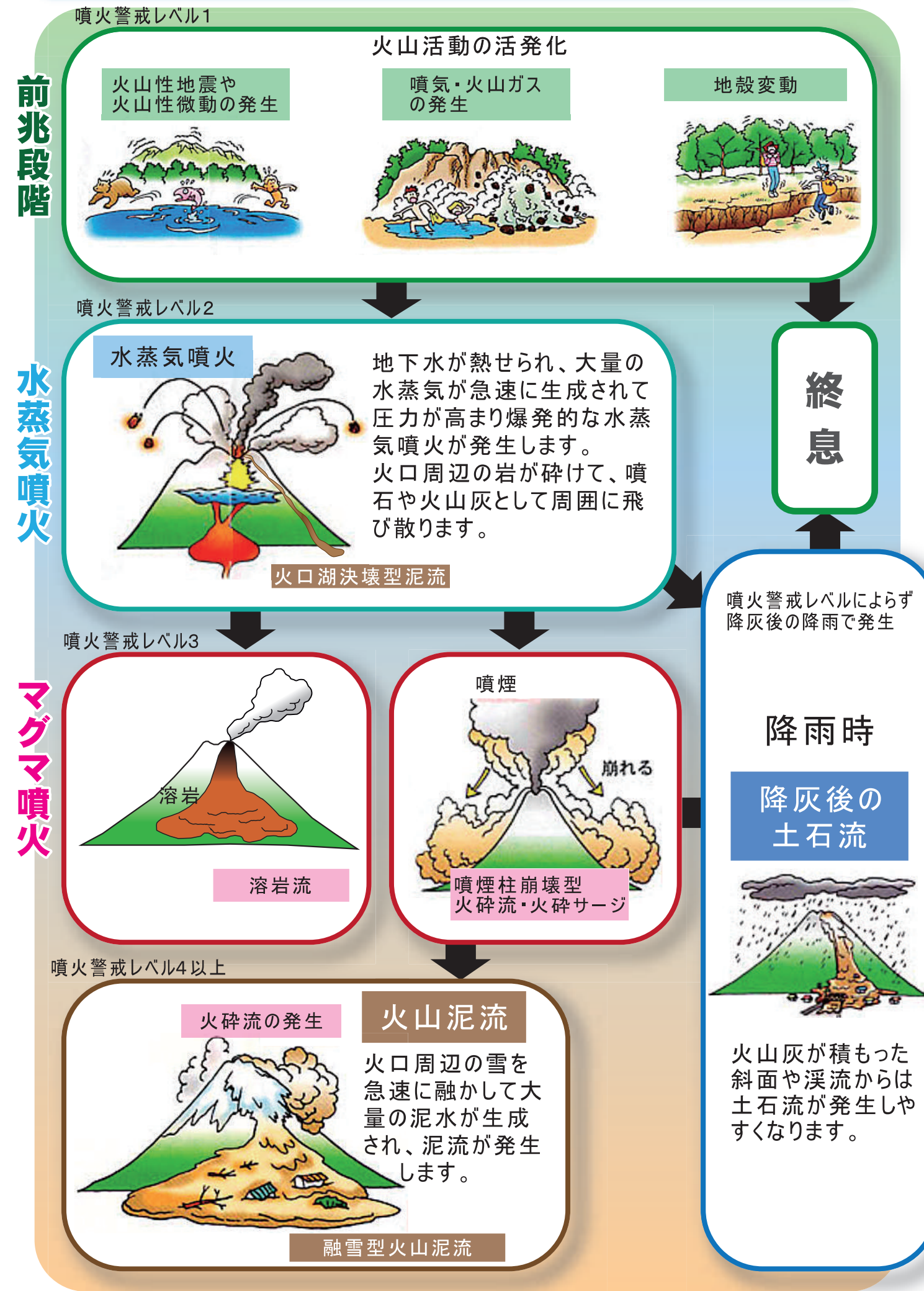
過去1万年間の噴火

年代	噴火場所	噴火様式	主な現象
4800年前	大岳山頂	マグマ噴火→水蒸気噴火→マグマ噴火	火砕流降下
4200年前	大岳山頂	水蒸気噴火→マグマ噴火	火砕流降下
3100年前	大岳山頂	マグマ噴火	火砕流降下
2000年前	大岳山頂?	水蒸気噴火	火砕流降下
1500年前	大岳山頂	水蒸気噴火	火砕流降下
600～700年前	地獄沼	水蒸気噴火	火砕流降下
400～600年前	地獄沼	水蒸気噴火	火砕流降下

有史以降の火山活動

年代	現象	活動経過・被害状況等
1986(昭和61)年	地震	北山麓で地震多発。8月10～12日。最大は10日17:50、M4.8、八甲田温泉、酸ヶ湯(すかゆ)等有感、萱野茶屋等で軽微な被害。
1997(平成9)年	火山ガス	7月12日。北東山麓の田代車で、窪地内に滞留していた被曝ガスにより、レンジャー訓練中の陸上自衛隊員3名が死亡。6月20日。酸ヶ湯付近で、火山性ガス(硫化水素)によって、山菜採りの女子中学生が死亡。
2010(平成22)年	火山ガス	3月～ 東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、八甲田山周辺で地震が増加した状態が経過。
2011(平成23)年	地震	2月以降、大岳山頂直下付近等で微小な火山性地震が増加。2月頃～10月山頂の南4km付近を震源として4月10日に2回、4月11日に9回の火山性地震。
2013(平成25)年	地震・地殻変動	大岳山頂の北西5km付近を震源として4月11日9時台に4回の火山性地震。
2018(平成30)年	地震	

八甲田山で予想される火山活動の推移



火山に関する主な発表情報(気象庁)

噴火時や火山活動が活発な時に発表(主な発表情報を示しています)

平常時から発表

噴火速報

- 登山者や火山周辺の住民に、噴火したことを迅速にお伝えする情報です。

火山の状況に関する解説情報

- 火山性地震や微動の回数、噴火等の状況や警戒事項について、必要に応じて定期的または臨時に解説する情報です。

降灰予報

- 噴火後に、どこに、どれくらいの火山灰が降るかについて、降灰の厚さを3階級に区分した予報を発表します。
- 噴火後速やかに発表される「降灰予報(速報)」とその後に発表される「降灰予報(詳細)」があります。また、噴火警報が発表されているときは「降灰予報(定時)」が3時間毎に発表されます。

噴火警報・予報(噴火警戒レベル)

- 噴火警報は、生命に危険を及ぼす火山現象が予想される場合に、警戒が必要な範囲を示して発表します。
- 八甲田山の頃は噴火警戒レベルが運用されている火山は、噴火警戒レベル(1～5の5階級)が発表されます(左下表を参照)。

火山活動解説資料

- 火山の活動の状況や警戒事項について、定期的または必要に応じて臨時に解説する資料です。

その他

- 上記以外にも、平常時から「週間火山概況」「月間火山概況」「地震・火山月報(防災編)」など火山に関する情報が定期的に発表されています。

降灰予報の階級表(3階級)

名称	厚さキーワード	表現例		影響ととるべき行動		その他の影響
		路面	視界	人	道路	
多量	1mm以上 [外出を控える]	完全に覆われる	視界不良となる	外出を控える	運転を控える	がたいへの火山灰降灰による停電発生や上水道の水質低下及び給水停止のおそれがある
		白線が見えにくい	明らかに降っている	マスク等で防護	後行運転する	稲などの農作物が収穫できなくなったり、鉄道などのポイント故障等により運転見合わせのおそれがある
やや多量	0.1mm≦厚さ<1mm [注意]	白線が見えにくい	明らかに降っている	マスク等で防護	後行運転する	稲などの農作物が収穫できなくなったり、鉄道などのポイント故障等により運転見合わせのおそれがある
		うっすら積もる	降っているのがよくわかる	窓を閉める	フロントガラスの除灰	航空機の運航不可
少量	0.1mm未満	うっすら積もる	降っているのがよくわかる	窓を閉める	フロントガラスの除灰	航空機の運航不可

※1 掲載写真は気象庁、鹿児島市、(株)南日本新聞社による

※2 富士山「バードマップ検討委員会」(2004)による想定

気象庁が発表する火山に関する情報(上記以外を含む)

気象庁ホームページ > 知識・解説 > 火山
http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vo_l_know.html



八甲田山の噴火警戒レベル

令和元(2019)年7月運用開始

種別	名称	対象範囲	レベル(色)	火山活動の状況	住民等の行動及び避難・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)	居住地域及びそれより火口側	5(紫)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●融雪型火山泥流が居住地域に到達、あるいは切迫している。 過去事例 大岳火口 約4800年前の噴火、約4200年前の噴火、約3100年前の噴火
			4(赤)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	●融雪型火山泥流が居住地域に到達するような噴火の発生が予想される。 過去事例 なし
			3(黄)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	登山禁止・入山規制など危険な地域への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難、要配慮者の避難準備等が必要。住民は通常の生活。	●大岳火口から、大きな噴石が概ね3km、溶岩流が概ね2km、火砕流・火砕サージが概ね5kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●大岳火口から、大きな噴石が概ね3km、溶岩流が概ね2km、火砕流・火砕サージが概ね5kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●積雪期は、大岳火口から概ね6kmの範囲内に融雪型火山泥流が到達、またはその可能性。 過去事例 1世紀頃の噴火
警報	噴火警報(火口周辺)	火口から居住地域近くまで	2(橙)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難等が必要。住民は通常の生活。	●大岳火口から、大きな噴石が概ね2kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●地獄沼火口から、大きな噴石が概ね1kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 過去事例 地獄沼火口 13～14世紀の噴火、15～17世紀の噴火(2回)
			1(黄)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制、特定地域の避難準備等が必要。住民は通常の生活。	●火山活動は静穏。 ●状況により火口内に影響する程度の火山灰や火山ガス等が噴出する可能性。
予報	噴火予報	火口内等	1(黄)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制、特定地域の避難準備等が必要。住民は通常の生活。	●火山活動は静穏。 ●状況により火口内に影響する程度の火山灰や火山ガス等が噴出する可能性。

※融雪型火山泥流は種類のみ想定される。

※特定地域とは、八甲田山の想定火口に近い所に位置する温泉等の施設が含まれる地域を指す。早期に避難等の対応が必要になることがある。

※火口が特定できない場合は、大岳火口及び地獄沼火口の両方の火口からの噴火を想定して噴火警報を発表する。

八甲田山の最新の活動

八甲田山の最新の火山活動は、気象庁の以下のWebページで見ることができます。

火山活動の状況(八甲田山)
http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/203.html



登山中に噴火した場合の対応

もし、登山中に噴火に遭遇したら
頭部や背中を保護しながら、急いで火口から離れましょう。

- 上空から高速で落下する噴石で死傷する可能性があります。登山中に噴火に遭遇したら頭部を守るためにヘルメットをかぶりましょう。ヘルメットがない時はリュックなどで頭部や背中を保護しながら避難しましょう。
- 避難は火口から遠ざかる方向へ急いで離れましょう。突発的に噴火した直後は、飛来する噴石から身を守るために建物や大きな岩陰などに入りましょう。
- 火山灰や火山ガスを吸い込まないように、タオルを口に当てながら避難しましょう。(火山ガスが溜まりやすい谷間や窪地は避ける。)
- 突発的な噴火に備えて、逃げる場所や身を隠せる場所をみつけながら登山しましょう。



火山登山者向けの情報

気象庁の以下のWebページでは、火山登山者向けの情報提供内容を見ることができます。

火山登山者向けの情報提供ページ(東北地方)
http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_2.html



火山灰が降ってきたときの対応

火山灰による生活への影響と対応

- 火山灰が積もると、目や気管支など身体への悪影響、火山灰の巻き上げによる視界不良、自動車の走行性能の低下、電柱のいし部のショートによる停電、水質悪化による給水停止、排水溝に火山灰が流れ込んだ場合は下水道の詰まり、農作物への影響など様々な生活への影響が生じます。
- 火山灰が降ってくるときは、身体を守るための防護マスクと防護メガネ(ゴーグル)、携帯電話や持ち歩く小物を守るためにビニール袋などを準備しましょう。また、帰宅時に玄関の前で服に着いた火山灰をばらうなど、火山灰が家の中に入り込まないように工夫しましょう。家の屋根や雨樋の除灰をするときは高所から落下しないよう注意しましょう。庭や道路の火山灰を清掃する場合は、火山灰が道路の側溝に入り込まないように注意しましょう。



火山灰に備えるための情報

防災科学技術研究所の以下のWebページでは、火山灰に備えるためのしおり等を掲載しています。

火山灰による健康被害
http://viva.web2.bosai.go.jp/ash/index.html



普段からの噴火への備え

噴火時に危険が予想されるエリアを確認しておきましょう

- この火山防災マップなどにより、八甲田山の噴火時に起きる現象と危険が予想されるエリアを確認しておきましょう。

噴火に関する情報の入手先を確認しておきましょう

- 火山が噴火した場合に気象庁や自治体(県・市町村)から発表される情報の種類を確認しておきましょう。
- 情報の入手方法(インターネット、ラジオ、テレビなど)を確認しておきましょう。

避難先や避難の仕方を確認しておきましょう

- 我が家の避難先(避難所等)や家族の連絡先を確認しておきましょう。避難先までの移動が困難になることも予想して、自宅近くの頑丈な建物等についても確認しておきましょう。
- 噴火して降灰がある場合は、視界不良や路面が滑りやすくなり、交通の渋滞が予想されます。また、降灰の影響で停電が発生する場合があります。車やバス、鉄道等の交通機関での移動が困難になることも予想して、家族で避難の仕方を確認しておきましょう。

万が一に備えて、非常時の持ち出し品等を準備しておきましょう

- 必要な備蓄品や非常時の持ち出し品を準備しておきましょう。
- 八甲田山から見て風下側にある地域では、火山から遠く離れていても降灰による生活への影響が予想されます。降灰の影響を軽減するために、火山灰から目や気管支を保護するための備えをしておきましょう。

八甲田山噴火時の避難の心得

最新の噴火状況を確認しましょう

- 気象庁が発表する噴火速報、噴火警報や噴火警戒レベルなど噴火状況の情報を確認しましょう。
- 噴火警戒レベルは、レベル4で「避難準備」(高齢者や身体の不自由な方がいる場合は避難開始)、レベル5で「避難」になります。また、火山に近い地域(特定地域)では、レベル3「入山規制」の段階で避難開始になります。

気象状況や土砂災害の情報に注意しましょう

- 気象庁の発表する降灰予報(噴火後に発表。数時間先までに降灰が予想される範囲を予報)で火山灰の飛来する方向を確認しましょう。
- 火山灰が山の斜面や渓流に積もると、少量の降雨でも土石流が発生しやすくなります。大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報が発表されたら、危険区域の外へすぐに避難しましょう。

避難情報が出たら、速やかに避難しましょう

- 避難時の基本的な服装は、ヘルメット等の頭部を保護するもの、動きやすい靴、防護眼鏡、マスク着用です。
- 速やかに避難所や安全な場所(火山から離れた高台。川沿いの建物や火山の風下側は避ける)に避難しましょう。火山泥流や降灰後の土石流が発生した状況で、避難所への移動が困難なときは、近くにある頑丈な建物の2階以上(八甲田山の方向に向いていない部屋)に避難しましょう。
- 避難するときは、ガスの元栓を閉め、電気のリレーカーを切って、戸締まりをしましょう。

このマップに関するお問い合わせ先

- 青森県 危機管理局 防災危機管理課 電話 017-734-9181 (八甲田山火山防災協議会 事務局)
- 青森市 総務部 危機管理課 電話 017-734-5059
- 十和田市 総務部 総務課 防災危機管理室 電話 0176-51-6703
- 黒石市 総務部 総務課 電話 0172-52-2111

発行 八甲田山火山防災協議会
青森県、青森市、十和田市、黒石市
作成 八甲田山火山防災協議会
資料提供 国土交通省、気象庁、上富良野町、都市部、長野県警察、宮崎県、信濃毎日新聞社、中田節也・工藤崇

「測量法に基づく国土地理院承認(複製) R 2 J H f 2 1 2」
「本製品を複製する場合は国土地理院長の承認を得なければならない」 令和2年(2020)年10月発行

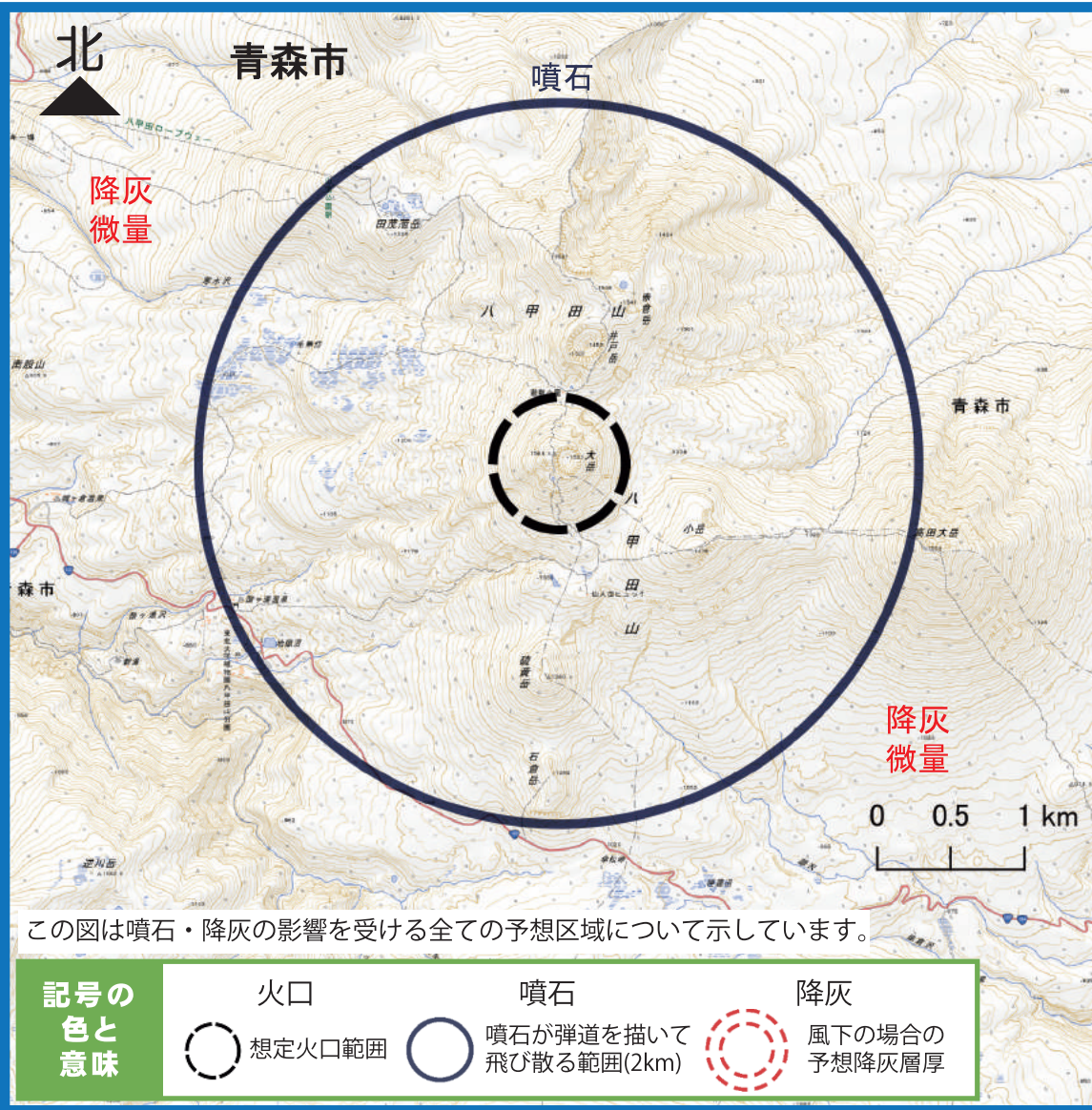
八甲田山火山ハザードマップ (全域版)

八甲田山で発生が予想される噴火について、大岳火口の場合と地獄沼火口の場合の図を示しています。

大岳で発生する噴火の特徴

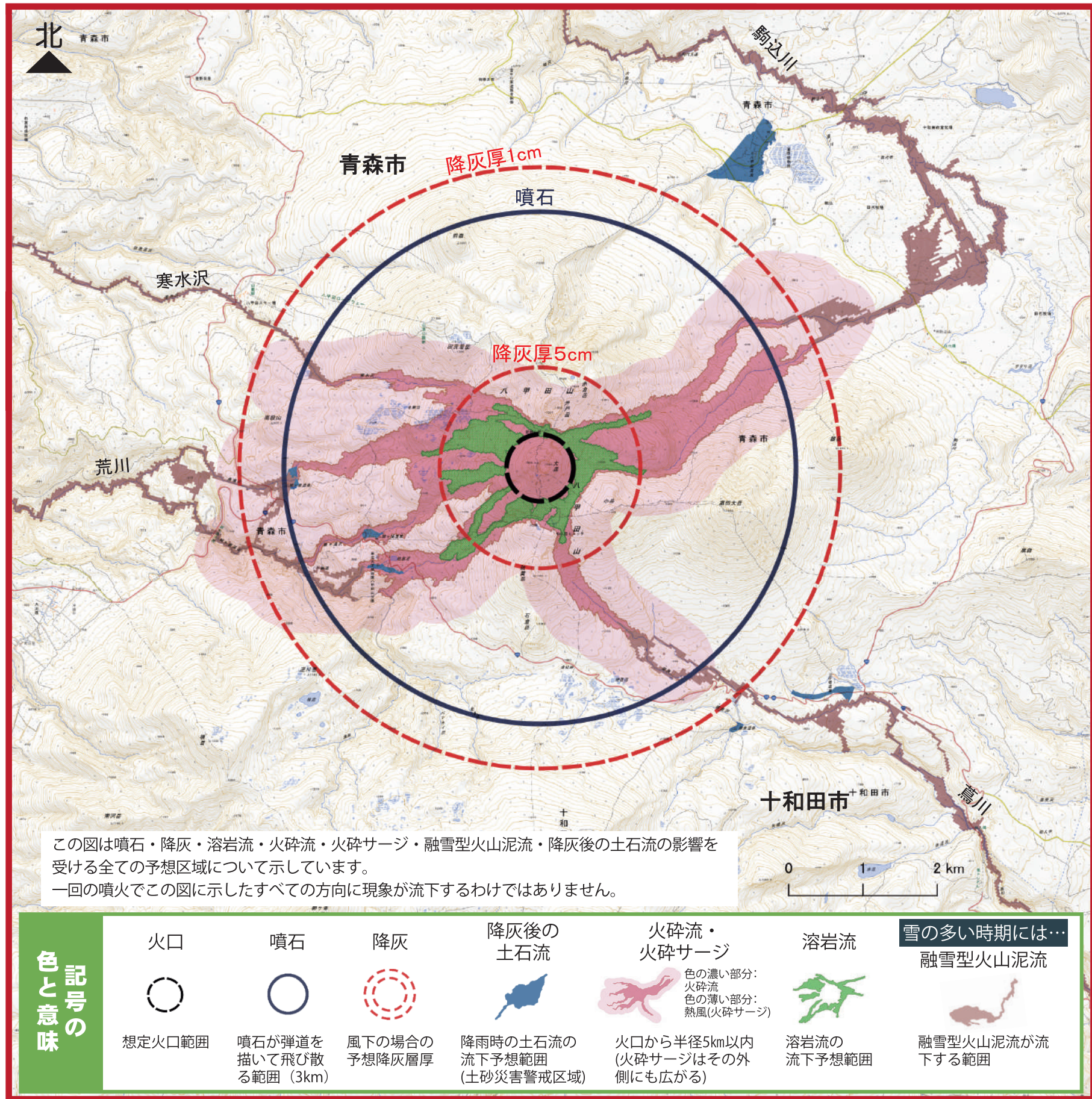
- 大岳火口では水蒸気噴火（小規模噴火）もしくはマグマ噴火（中～大規模噴火）が発生する可能性があります。
- 水蒸気噴火で発生が予想される現象として、降灰、噴石があります。
- マグマ噴火は、噴火警戒レベル3以上のときに発生する可能性があります。
- マグマ噴火で発生する現象のうち、融雪型火山泥流は積雪期にのみ発生する想定です。
- 火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域に流下してくる場合、甚大な被害が発生すると予想されます。
- 山体斜面に降灰があった場合、少量の降雨でも土石流が発生しやすくなります。

水蒸気噴火の場合（大岳 小規模噴火） 噴火警戒レベル2の段階から発生する現象と影響範囲



マグマ噴火の場合（大岳 中規模噴火）

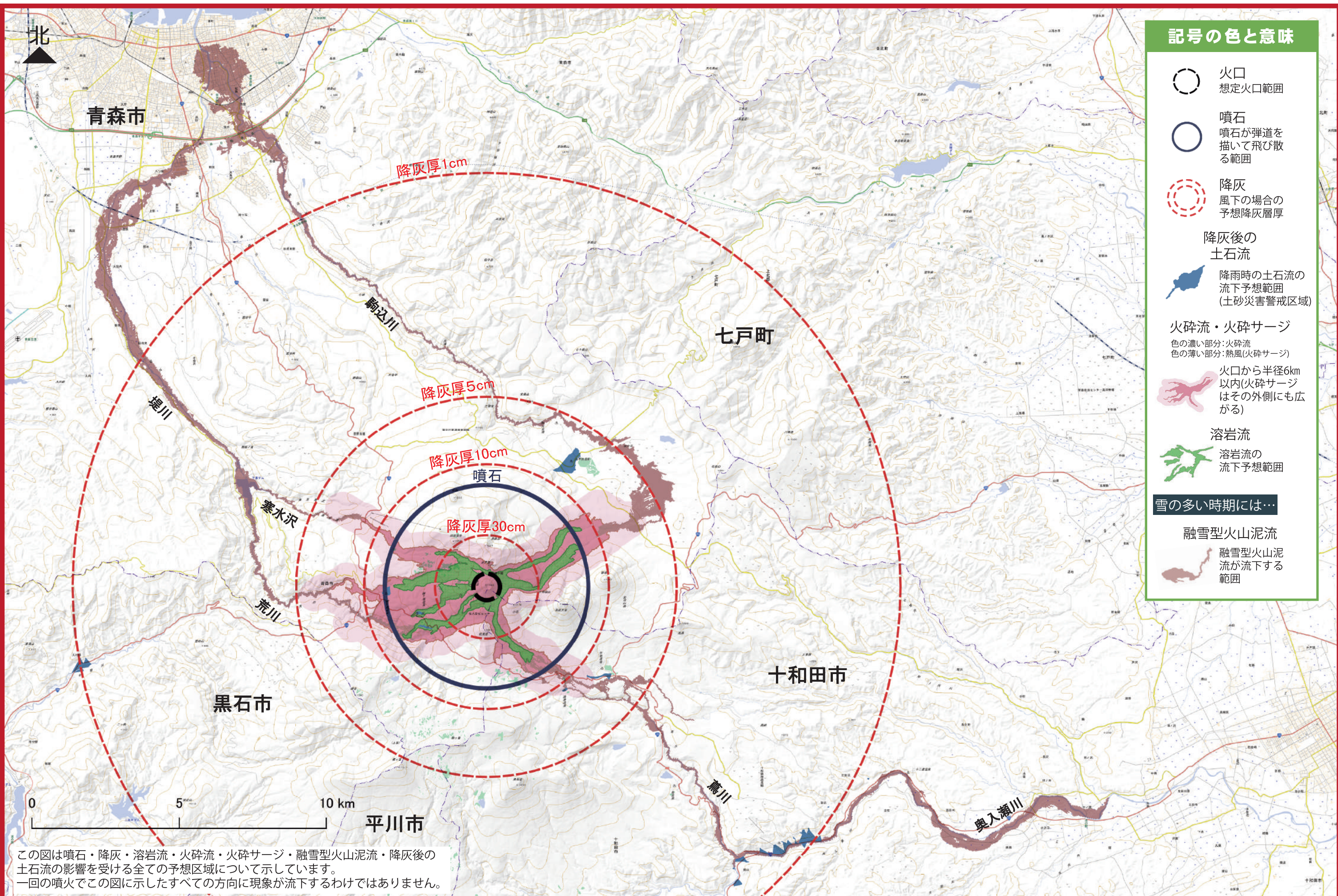
噴火警戒レベル3の段階で発生する現象と影響範囲



マグマ噴火の場合（大岳 大規模噴火）

大規模噴火：噴火警戒レベル3以上の段階で発生する現象と影響範囲

火砕流・火砕サージはレベル3以上で発生
融雪型火山泥流はレベル4以上で、かつ、積雪期にのみ発生



八甲田山で予想される噴火現象とその影響

● 八甲田山の噴火にもよって様々な噴火現象が発生すると予想されます。ここではそのうちの代表的な現象について示しています。

<p>降灰 (火山灰・小さな噴石)</p> <p>風の下側の広範囲に影響</p> <p>火山で噴火が起きると火口から火山灰や火山ガスが放出され、噴煙が形成されます。噴煙に含まれる火山灰や小さな噴石は風に流されて、火山の風下側に積もります。降灰は少量でも道路の視界が悪くなったり、目や気管支に影響が出ることがあります。</p> <p>三宅島の噴火による噴煙と降灰</p> <p>このマップで想定した条件</p> <p>水蒸気噴火は火口周辺に微量な降灰の分布を想定。マグマ噴火は50万m³と500万m³の火山灰が12月の平均風速で放出された場合を想定(全方向に表示)。</p>	<p>噴石 (大きな噴石)</p> <p>火口～中腹まで影響</p> <p>爆発の勢いが激しい場合、火口から岩が弾道を描いて飛び散ることがあり「大きな噴石」と呼ばれます。大きな噴石が建物に直撃すると、屋根や壁を突き抜けることがあります。</p> <p>有珠山の噴火による噴石(上)と屋根に穴のあいた建物(下)</p>	<p>溶岩流</p> <p>火口の周囲に影響</p> <p>溶岩流は、高温で溶けた岩石(マグマ)が火口からあふれ出して遅い速度で流れ出すものです。</p> <p>シナブ山火山の溶岩流</p>	<p>火砕流・火砕サージ</p> <p>火口～山麓まで影響</p> <p>火砕流は、高温の火山ガス・軽石・火山灰などが混合し、高速で流下する現象です。流下するスピードは時速100kmを超えることもあり、噴火で起きる現象の中でも特に破壊力が大きな恐ろしい現象です。火砕流が発生する時には、火砕サージと呼ばれる高速・高温で危険な熱風を伴って流れます。火砕流が発生する仕組みによって、溶岩ドーム崩壊型火砕流、噴煙柱崩壊型火砕流と専門的に呼び分けることもあります。</p> <p>雲仙普賢岳の火砕流</p>	<p>融雪型火山泥流 及び火口湖決壊型泥流</p> <p>川沿いの広範囲に影響</p> <p>積雪期に噴火が起こり火口周辺の雪が高温の火砕流に覆われた場合などに、急速に雪が融けて融雪型火山泥流が発生します。この泥流は流下する途中で樹木や溪流沿いの岩を巻き込んで破壊力を増し、山麓に大きな被害をもたらします。大量の泥水が短時間に発生するため、降雨が発生する土石流に比べて氾濫範囲が広がります。このほか噴火とともに火口湖から少量の泥水が流れ出す泥流(火口湖決壊型泥流)が発生することがあります。</p> <p>十勝岳の噴火による火山泥流で氾濫した川の様子</p>	<p>降灰後の土石流</p> <p>川沿いの地域に影響</p> <p>降雨による泥水と土砂が入り混じって沢を流れる現象です。火山泥流と同様、流下の途中で川沿いの樹木や大きな岩を巻き込むことによって、山麓に大きな被害をもたらすことがあります。噴火によって山に火山灰が積もった場合、比較的少ない降雨でも土石流が発生しやすくなります。</p> <p>昭和50年に岩木山の百沢で発生した土石流の氾濫の様子</p>	<p>火山ガス</p> <p>噴気の活動が活発になると、二酸化硫黄や二酸化炭素を多く含むガスが放出されることがあります。風の弱い時などに噴気孔周辺の凹地などに立ち入ると非常に危険です。</p> <p>しゃめんほうかい 斜面崩壊・地すべり</p> <p>噴火や地震などが引き金になって山の斜面が大きく崩れたり、滑り落ちる現象です。発生する規模が大きい場合には落ちた周辺一帯が土砂に埋もれて大きな被害が発生します。</p> <p>ちかくへんどう 地殻変動</p> <p>地下のマグマが地表付近に上昇してきた場合に、火山やその周辺の土地を変形させることがあります。道路や建物に被害が出ます。</p> <p>じしん 地震</p> <p>マグマが地表付近に上昇する時に、周囲の岩盤を壊して地震を発生させます。マグマの上付近の地表では、震度5以上の有感地震になることもあります。</p>
---	---	--	--	--	---	---

地獄沼で発生する噴火の特徴

- 地獄沼火口では水蒸気噴火が発生する可能性があります。
- 水蒸気噴火で発生が予想される現象として、降灰、噴石、火口湖決壊型泥流があります。
- 山体斜面に降灰があった場合、少量の降雨でも土石流が発生しやすくなります。

水蒸気噴火の場合（地獄沼 中規模噴火）

噴火警戒レベル2の段階から発生する現象と影響範囲



八甲田山噴火時の避難所リスト

避難対象地区	避難所
駒込字深沢△	戸山西小学校
荒川字寒水沢△、上野字有原、金浜字伊吹	荒川市民センター
花園1丁目	カフヒログループスタジアム
花園2丁目	青森商業高等学校・浪打中学校・東部市民センター
松原1丁目	貫町小学校・福祉増進センター
松原2丁目	橋本小学校
松原3丁目	共同組合タッペン美術展示館・リンクステーションホール青森
松森1丁目	小柳小学校・浜館小学校
松森2丁目	青森東中学校・青森東高等学校
松森3丁目	カフヒログループスタジアム・合浦小学校・青森市の短期大学
佃1丁目	みちぎんドリームスタジアム・佃中学校
佃2丁目	県立保健大学・遼道小学校
桜川1丁目	簡井小学校
桜川2丁目	青森中央学院大学
桜川3丁目	簡井南小学校
桜川4丁目	青森高等学校
桜川5丁目	青森県総合学校教育センター・青森高等技術専門校
桜川6丁目	青森大学
桜川7丁目	簡井中学校
桜川8丁目	簡井小学校・横内中学校
桜川9丁目	青森県総合学校教育センター
中佃1丁目	遼道中学校・佃中学校
中佃2丁目	青森東高等学校
奥野2丁目	リンクステーションホール青森・県民福祉プラザ
奥野3丁目	浦町小学校・アピオ青森
南佃1丁目	浪打小学校
簡井3丁目	青森工業高等学校
簡井4丁目	青森公立大学・ねむのき会館
簡井字桜川	東郷小学校・簡井小学校
古籠1丁目	原別小学校
駒込字見吉	ねむのき会館
幸畑字唐崎	戸山市民センター
幸畑字谷路	横内市民センター・幸畑小学校
幸畑字阿部野	戸山西小学校
田茂木野字阿部野、田茂木野字田茂木	幸畑小学校
駒込字柳ノ沢	戸山中学校・戸山市民センター
陸奥町1丁目、第2陸奥町1丁目、第2陸奥町4丁目、妙見1丁目、鉦町、八ツ段字芦谷	盛運輸アリーナ
牛館字松枝、荒川字高井	大野小学校
上野字山辺	青森県社会教育センター
金浜字船岡	青森刑務所
高田字日野、高田字川瀬、大別内字西田、野沢字沢部、野沢字横手、野沢字稲荷沢、野沢字川部	青森中央高等学校
避難対象地区	避難所
横山地区、十和田湖温泉郷地区、沢沢地区、片貝沢地区、百目木地区、善温泉地区	第一中学校
高泉寺地区、法量地区、朽久保地区、大畑野地区、立石地区、冷水道交地区、中川原地区	法興小学校
川口地区、小沢口地区	沢田修学館
新川原地区	法興小学校・西コミュニティセンター
下川目地区	西コミュニティセンター・旧包括支援センター

◇印は、特定地域のため、噴火警戒レベル2で避難準備、噴火警戒レベル3で避難が必要な地区です。

避難所について、より詳細にご覧になりたい方は市役所(防災担当課)や最寄りの支所にお尋ねください。